

～新たな公共牧場の役割 肉用牛の冬期預託施設の整備～



冬期預託施設（完成イメージ）



冬期預託施設の内部（完成イメージ）

【まさ君】 牧場ではふだんどんな仕事をしているの？

【おべ様】 牧場では、夏の間、農家の人から牛を預かって放牧しているんだ。牧場の人は毎日、朝と夕方に放牧している牛を1か所に集めて、ケガや病気をしていないか確認しているんだよ。だから、牛を預けている農家の方は、安心して米や野菜作りができるんだよ。

【まさ君】 じゃあ、冬は何をしているの？暇なの？

【おべ様】 青森県のほとんどの牧場は、夏の間だけ牛を放牧して、雪が降って牧草がなくなる前に農家の人に牛を返すという方式をとっているんだ。これを「夏山冬里方式」（なつやまふゆさとほうしき）って言ってるんだけど、確かに冬は牧場に牛がいなくなるから、牧場の人はちょっと暇なのかもね！

でもね、まさ君、今つがる市の牧場で、冬の間も農家の方が牛を預けられる施設を作ることになっているんだよ。これが完成すれば津軽地域では初めての施設ってことになるんだ。だから、牛を飼っている人たちがみんな注目しているんだよ。

【まさ君】 へえ、だったらさあ、農家の方が冬に暇になるってことじゃないの？

【おべ様】 そうじゃないんだよ！まさ君。今、農家の方は子牛の値段が高いから、もっと牛を増やしたいと思っているんだ。でもね、牛を増やすためには自分で新しい牛舎を建てなければならないし、お金や手間もかかるでしょ。それを牧場がやってくれたら、農家の方はお金も手間もかけずに牛を増やすことができるってわけ。その増えた分を牧場が冬の間も預かってくれるってわけだ。

【まさ君】 牛を増やすために必要な施設なんだね。

【おべ様】 そうだよ。でも、冬も牧場で牛を預かるってことは、冬の間のえさも夏の間に確保しておかなければならないってことだから、牧場の人はちょっと大変だね。

この牧場の施設は今年度設計作業を行い、再来年に完成するみたいだから、完成したらいっしょに見に行こう。



「環境公共」ホームページ：<http://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/agri/kankyokoukyou.html>